

令和7年度 理学部学校推薦型選抜試験 小論文 出題の意図

「出題について」

理科に関する課題を6題用意している。課題 I および II は物理、課題 III および IV は化学、課題 V および VI は生物の分野の内容を主とした課題で、受験生はこれら6題より2題選択して、それぞれ400字以内で小論文として仕上げるものである。なお、必要であれば、解答欄の枠下の空欄に図を描き込んでよいとした。

「出題の意図」

理学部では、調査書と推薦書によって高等学校での学習の達成度を、面接での口頭試問により適性と意欲を、そして小論文にて理学部に適性があるかどうかを評価する。小論文においては、自然の物事を論理的に扱う数学、理科などの基礎学力を備え、R7年度選抜試験では下記の理科(物理・化学・生物)の内容の課題全6題から2題を選択して、その課題の意図するところを指定された字数にて正確に正しい日本語にて表現、記述できるかを問うている。

物理:円運動における向心力と遠心力のつりあいとその周期(課題 I)、光が波の性質をもつとされる実験的根拠(課題 II)について正しく理解し説明できるかを問う。

化学:理想気体と実在気体(課題 III)、可逆反応と化学平衡の状態(課題 VI)について正しく理解し記述できるかを問う。

生物:生命とは何か(課題 V)、神経系(課題 VI)について正しく理解し、それぞれ指定されたキーワードを用いて正しく記述できるかを問う。